

SYDかわらばん

〈最新活動情報 No.155〉 2021年9月20日号

～歴史探訪～オリンピックと国土美化運動の展開(その2)

オリンピック東京大会を前にして発足した「国土を美しくする運動中央委員会」の運動に積極的に参加した修養団は、国土美化キャラバン隊を全国各地に派遣し、美化実践運動を推進した。さらにその運動の一環として、昭和の青年たちの手で美しい緑の日本を築き上げようと提唱し緑化運動を展開した。

公衆道徳高揚国土美化キャラバン

東京オリンピックの年、昭和39年5月1日から5日にかけて、団は、国土美化四国キャラバンを、高知から高松まで、愛媛廻り、徳島廻りの2コースに分けて実施した。また同じ5月の1日から3日に、岡山県では、3コースに分けて県下巡回キャラバンを実施した。

この年の6月、団は青年部の中核組織として、愛汗青年実践隊を創立。中心事業として、従来のキャラバンの成果と経験に基づき、新たに、公衆道徳高揚国土美化キャラバンを企画。文部省の後援ならびに補助金を得て、8月以降、全国、1都1道2府35県において、「青年の手で明るい社会、美しい国土を！」のスローガンのもとに、参加した392名の隊員によって展開した。このキャラバンの趣旨は、第一に、創造的組織的实践力を発揮して、公衆道徳の高揚・国土美化をはかるための実践活動を展開することであり、第二には、キャラバン活動を通じて、相互に修養研鑽につとめ、次代を担うにふさわしい青年リーダーとなることにあった。

このキャラバンは、まさに「愛と汗」の行動隊であり、後に、修養団青年奉仕キャラバンとして定着し、本部や連合会、支部などで明るい社会建設運動の中心事業として展開され、今日に及んでいる。



オリンピック記念「若人の森をつくる運動

昭和39年、かつて明治の青年たちが、明治天皇を敬慕して全国から樹木を持ち寄って神宮

の森をつくったように、オリンピック東京大会を記念して、昭和の青年たちの手で中央とふるさとの交換植樹

をおこない、全国に「若人の森」をつくって、美しい緑の日本を築きあげようと提唱した。国土美化を推進している新生活運動協会は、この提唱に共鳴し、主要青少年団体の協力のもとに、この運動はその緒についた。まず第一陣として、6月21日、国立競技場(青山門、聖火台の下)において、「若人の森をつくるみんなの会『全国交換植樹中央大会』を開催した。この日、当初は全国の青少年代表がふるさとの木を持ち寄ることになっていたが、活着(移植や挿し木・接ぎ木をした植物が、根づいて生長すること)、美観等の問題があり、結局、マテバシイの苗木47本を献木した。苗木は、国立競技場正面に植えられた。また参加した青少年代表は、靖国神社および宮城県の中村園芸社から贈られた、桜、銀杏、ソテツの苗木を持ち帰り、全国各地に植樹した。

団が提唱した「若人の森」をつくる運動は、青年部が中心となって、文部省青少年教育課、オリンピック課の助言も得、各中央青少年団体に呼びかけ、新生活運動協会を推進母体に懇談の会を重ねた結果、昭和40年3月1日、岸記念体育館において、主要青少年団体等30団体を構成メンバーに、『オリンピック記念「若人の森」建設委員会』の発足となった。同年3月26日、オリンピック記念青少年総合センターを会場にして、『「若人の森」建設運動推進大会』を開催、委員会総裁である常陸宮殿下ご夫婦も臨席され、お言葉を賜るとともに、参加者1500人と記念植樹をされた。団青年部からも多数参加した。



若人の森をつくる会(昭和39年6月21日)国立競技場

主催事業・活動等

報告

9/13…第3回「Zoomでオンライン家庭《共育》ひろば」32人 《原坂一郎》

KANSAI子ども研究所(兵庫県神戸市)所長を務め、SYD発行の月刊誌「愛」に「子どもが先生」のタイトルでエッセーを執筆中の原坂一郎さんが「笑顔いっぱいの子育て～小さな喜びに気づくヒント～」のテーマで講演をおこなった。

「3秒の笑顔」「笑顔のもとを見つけるコツ」「5%だけ変わってみよう」など、保育士時代の体験を交え、子育てのストレスやイライラを笑顔に転化させるヒントを講演した。



予定

【幸せの種まきキャンペーン《出前講座》】 《山口千恵子、谷野渉》

9/28 東京都・SYDホール

※11/26～28 にSYDホールで上演される舞台「サンパギータ咲く山の童話～パヤタスに降る星より」の出演者に向け実施。

10/1…「オンライン青年ボランティアゼミナール」 《奥本充》

「日本の水産業のみらいをつくる～がむしゃらに生きて、やっとたどり着いた道～」のテーマで講演。

会員組織の主な動き

報告

9/3…修養団山都愛汗の会「愛汗苑のぼり設置」〔福島県喜多方市・愛汗苑〕

修養団創立者・蓮沼門三の生誕地である福島県喜多方市「愛汗苑」の苑内と沿道にノボリ旗を設置。沿道からも分かりやすく、道案内となるように修養団山都愛汗の会が制作・設置したものを。(発信・小澤清一)



情報あれこれ

バザー品提供のお願い

11月13日、東京都・SYD本部で「幸せの種まき祭り」を実施いたします。

昨年につき、新型コロナウイルス感染防止の観点から「チャリティーバザー」のみの開催といたします。

事業の収益金はSYD「幸せの種まき献金」を通じてストリートチルドレンや災害被災者支援に役立てます。

提供品は以下に限定させていただきます

- ・日用品(タオル、シーツ、石鹸等)
- ※未使用品のみ
- ・野菜
- ・特産品
(もち米、お米、海産物、菓子等)

ご提供いただける場合は、お電話、ファクシミリ、Eメール等でご一報ください。

<発行・連絡先>

SYD(公益財団法人修養団) 社会教育部
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2
☎03(3405)5441 FAX03(3405)5424
E-mail : info@syd.or.jp
ホームページ : https://syd.or.jp/

SYD

検索